

地域に根差した薬局・薬剤師の確立  
～調剤薬局薬剤師の新たな挑戦～

ミキ薬局小田原店  
石井 綾子

はじめに 医薬分業は平成 22 年では全国平均 63.1%を超え、国民の健康な生活を確保のための医薬品の供給は十分に行われるようになってきています。しかし、公衆衛生の寄与の面ではもう一歩と言われていています。薬剤師が薬局業務のみに携わるのではなく、地域の健康づくりに貢献して、地域住民に寄与するにはどうしたらいいのか？調剤薬局薬剤師の立場から考える。

活動内容 平成 23 年 4 月より小田原市立久野小学校の学校薬剤師となり、業務を行った。プール運営委員会など、学校・PTA 主催の行事に参加して意見を交換した。実務実習においては、実習生を引率し学校薬剤師業務の見学・指導も行った。

結果 学校関係者からの信頼を得る。  
学生実務実習も説明だけではなく実際に見てもらったことでの充実。初めての事が多かったが自分なり熱心に取り組めた。

展望 今後は学校での講演などを通じて、薬剤師としての知識を活かし子供たちに指導・助言を行っていきたい。このように「学校」を通じて、地域に貢献できればいいと思います。